



呉市立警固屋小学校
学校通信 NO. 4
令和3年6月30日発行

緊急事態宣言が解除されましたが、小学校では来月7月11日まで、これまでどおりのコロナ対応を行います。児童や保護者の皆様には、たいへんご心配・ご迷惑をおかけしますが、今でき得る最大限の教育活動を行っておりますので、ご理解、ご協力を、今一度よろしくお願い申し上げます。

さて、6月も今日で最後となりました。今月の学校の様子をお伝えします。

いじめ撲滅キャンペーン

警固屋学園では「いじめ撲滅キャンペーン」を6月7日(月)から7月9日(金)まで実施しています。取組の一つとして、毎年「いじめ撲滅標語」を作成しています。今年度の小学生の部の優秀作品は、1年生の岡田美咲さんの作品が選ばれました。岡田さんは『あそぼうよ。』と声をかけることで、ひとりぼっちの人や寂しい思いをしている人がいなくなり、みんなが1仲良くなれると考えて、この標語をつくったそうです。

あそぼうよ
なかよくなれる
あいことば

いじめ撲滅標語以外の取組としては、いじめアンケートを実施したり、道徳科や学級活動等の授業で「友達の大切さ」や「信頼」等を学習したりしながら、いろいろな教育活動で「いじめ撲滅」に取り組んでいます。

また、「ふれあい相談窓口」も常時開設していますので、気になることがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。(TEL 28-0011)

タブレットで授業

子ども達にタブレットが配布されて2か月余り過ぎました。小学校では、どの学年も一日に最低一回は、タブレットを使って学習しています。そこで、学習の様子をいくつか紹介します。

<音楽科(1・2年生)>

新型コロナウイルス感染拡大防止を受け、小学校では、国のマニュアルに則って音楽科の指導を行っています。マニュアルでは、歌唱指導や鍵盤ハーモニカやリコーダー等の楽器の指導を行うことができません。子ども達には、とても迷惑をかけているところですが、その代わりに、タブレットのピアノアプリを使って、楽しく学習をしています。1年生では「きらきらぼし」、2年生では「カエルの歌」をタブレットで上手に演奏していました。子どもたちが上手にタブレットを操作し、演奏していることに驚きました。



1年生 きらきら星の演奏



2年生 かえるの歌の演奏

<理科(4年生)>

「電気のはたらき」の授業では、電池のつなぎ方や電池の数で、風車の風の強さや向きが違う実験をして、その理由を考える授業をしていました。その実験装置をつくる時に、担任の先生が作り方をタブレットに映し出し、大型テレビで見せながら説明していました。今までだと、先生の周りに子ども達が集まって見ていましたが、タブレットを使えば、先生の周りに集まってもなくても、遠くからでも、テレビを見て学ぶことができます。子ども達も、テレビを見ながら実験装置を一生懸命作っていました。



テレビに映し出された先生の実験装置

<社会科(5年生)>

これまでの5年生の社会科は、地図帳や資料集を使って、日本の地形の特色や産業等の学習をしてきました。そのため、調べにくいところもありましたが、タブレットの導入で授業が劇的に変わりました。子ども達はアプリを使ってリアルタイムの情報を収集したり、写真を見たりして学習を深めています。



沖縄を紹介している様子

※ 今回、3年生や6年生の紹介ができませんでしたが、どの学年も毎日しっかり授業で活用しています。またの機会に紹介させていただきます。

書写の指導

6月16日(水)に、書写の指導をしていただく特別非常勤講師の垣内美和子先生が着任されました。主に3・4年生の書写の指導をしていただきますが、書写作品展の取組では、5・6年生にもご指導していただきます。昨年度もお世話になっておりますので、子ども達のことをよく知っておられ、子ども達も垣内先生との再会を喜んでいました。



垣内先生の書写指導の様子

警固屋学園 研究授業



6月25日(金)、警固屋学園研修で3年生が研究授業を行いました。本年度は「思考力・判断力・表現力の育成」という研究主題で小中学校がそれぞれ研究を進めています。今回は、その第一回目として、本校の厚谷教諭が国語科で「調べて書こう、わたしのレポート」の授業を行いました。参加教員はコロナ禍のため、最小限で行いましたが、子ども達は、レポート書くために、調べてきたメモをどのように整理すればよいか。順番はどうすればよいか等を、友達と話し合いながら、一生けんめい考えていました。レポートができたら、4年生に発表するそうです。わかりやすいレポートができることを楽しみにしています。